

科目名	ヴォーカルⅥ							年度	2026
英語科目名	Vocal Ⅵ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	池田ちほ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		
【科目の目的】 より多くのジャンルの曲を使って、グループでの歌唱とソロパートの歌唱を実践する。また、観客の前で歌うことを想定し、身体を使っての表現も行っていく。									
【科目の概要】 様々な種のヴォーカルに取り組み、歌の世界観を理解し、歌唱力と表現力を高めることを目標とし、成果を発表する。									
【到達目標】 ヴォーカルⅡで確実に声が成長し音域が変化してきたところで成果発表を経験する。そして、発表後の授業で一人ひとりが良かった点、悪かった点、練習と本番での相違点を振り返り理解し、自分の歌声を更に伸ばしていくにはどうしたらいいかを考え、工夫していくこと、声だけでなく歌の表現力を高めていくこと、どんなジャンルにも通用する柔らかない歌声を身につける。									
【授業の注意点】 授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる	挨拶することができる	挨拶することが全くできない						
到達目標 B	課題内容を理解し演じる（歌う）ことができる	課題を演じる（歌う）ことができる	課題を演じる（歌う）ことができない						
到達目標 C	遅刻・欠席をしない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い						
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 必要に応じて楽譜・資料を配布する。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ヴォーカルVI			年度	2026
英語表記		Vocal VI			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	様々な歌唱スタイル 1	バラード	1 ソロパート	自信を持つこと	2	
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
2	様々な歌唱スタイル 2		1 ソロパート	自信を持つこと		
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
3	様々な歌唱スタイル 3		1 ソロパート	自信を持つこと		
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
4	ハーモニーの応用ト レーニング 1	J-POP	1 ソロパート	自信を持つこと		
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
5	ハーモニーの応用ト レーニング 2		1 ソロパート	自信を持つこと		
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
6	ミュージカルナン バーを歌う 1	レミゼラブル	1 読譜力	歌唱力を養う		
			2 音感力	ハーモニーを強化する		
			3 表現力	パフォーマンス能力を身に付ける		
7	ミュージカルナン バーを歌う 2		1 読譜力	歌唱力を養う		
			2 音感力	ハーモニーを強化する		
			3 表現力	パフォーマンス能力を身に付ける		
8	オーディション対策 トレーニング 1	オンライン対策	1 モバイルツール	必要なスキルを習得する		
			2 動画	実践の場で活用する		
			1 モバイルツール	必要なスキルを習得する		
9	オーディション対策 トレーニング 2		2 動画	実践の場で活用する		
			1 発表	個性を活かした表現をする		
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等